

茨城県景気ウォッチャー調査結果（令和2年3月調査）

1 調査結果

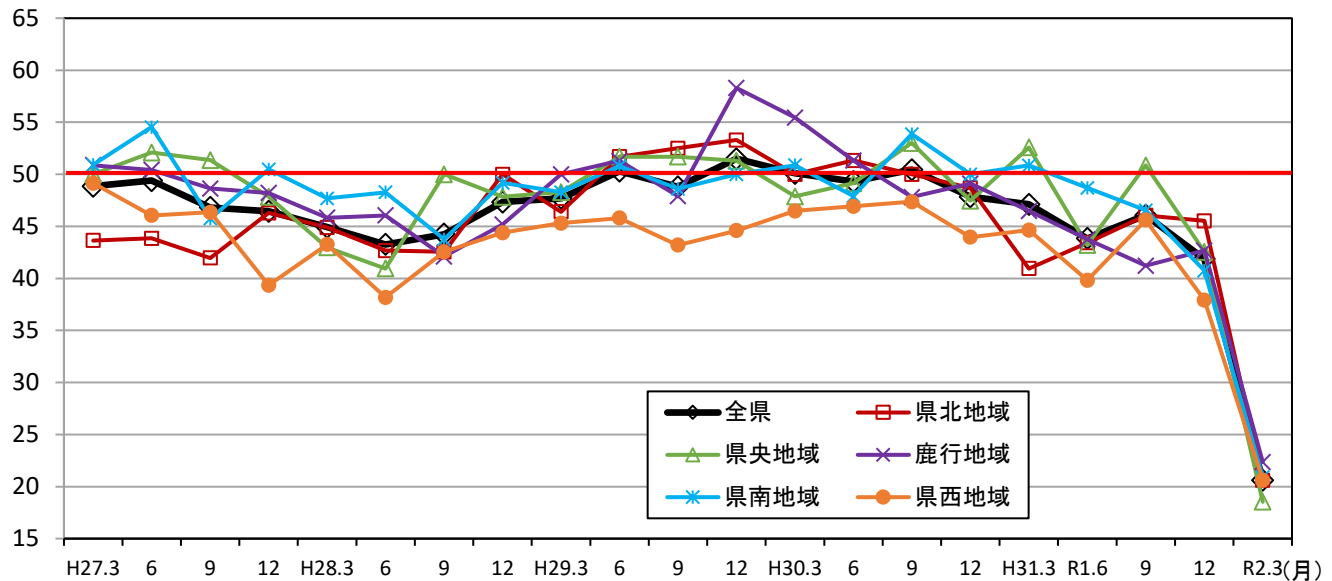
～ リーマンショック以来の低水準 ～

☆ここがポイント

区分	景気現状判断DI		景気先行き判断DI		※DI(Diffusion Index) 景気動向を判断するために使用される指標の1つ。景気 directional (景気が上向きか下向きか) を見るもの。 本調査では、回答を5つの区分ごとに点数で表し、その点数を回答構成比(%)で乗じてDIを算出している。
	3月調査結果	前回調査との差	3月調査結果	前回調査との差	
県全体	20.6	-21.3	23.6	-19.3	<参考> DI値50超 : 上向き DI値50 : 横ばい DI値50未満 : 下向き
県北	20.6	-24.9	23.7	-23.2	
県央	18.5	-24.0	24.6	-17.9	
鹿行	22.4	-20.3	20.2	-22.9	
県南	20.9	-19.8	23.2	-16.2	
県西	20.6	-17.3	26.3	-16.4	

○県全体の景気現状判断DI、景気先行き判断DI共に6期連続で50を下回った。
 ・現状、先行き共にリーマンショックの影響が顕在化した時期（平成20年12月～平成21年3月）以来の低いDI値となった。
 ・前回調査からのDI値低下幅は現状、先行き共に過去最大。
 ○ウォッチャーからは、新型コロナウイルス、キャンセル、外出自粛等に関するコメントが多く寄せられた。

(DI) 景気現状判断DIの推移（地域別）



[調査の概要]

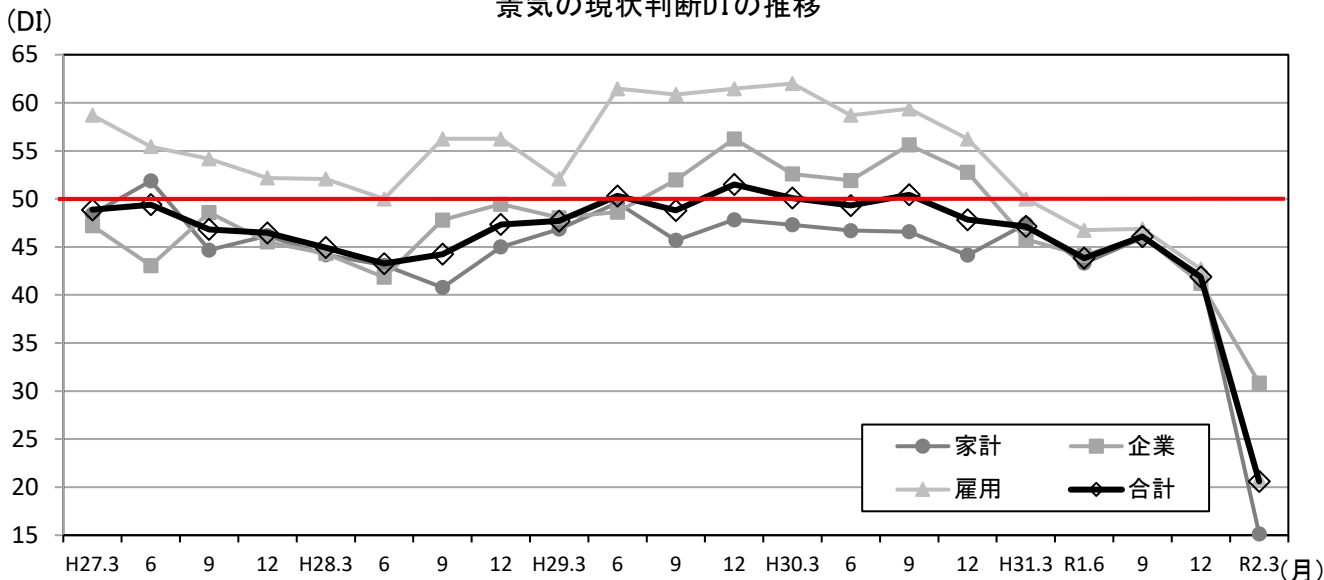
- ・ 調査対象数 … 県内5地域（県北、県央、鹿行、県南、県西）ごとに60名、計300名。
- ・ 調査内容 … 3か月前と比較した現状及び3か月後の先行きの景気の判断（「良い」「やや良い」「変わらない」「やや悪い」「悪い」の5択）とその判断理由（コメント）の回答を集計。
- ・ 調査時期 … 四半期（6、9、12、3月）毎に実施し、翌月公表。（今回調査期間：令和2年3月5日から20日まで）
- ・ 回答率 … 94.7%（300名中284名から回答）

(地域区分) 県北地域: 日立市, 常陸太田市, 高萩市, 北茨城市, ひたちなか市, 常陸大宮市, 那珂市, 東海村, 大子町
 県央地域: 水戸市, 笠間市, 小美玉市, 茨城町, 大洗町, 城里町
 鹿行地域: 鹿嶋市, 潮来市, 神栖市, 行方市, 銚田市
 県南地域: 土浦市, 石岡市, 龍ヶ崎市, 取手市, 牛久市, つくば市, 守谷市, 稲敷市, かすみがうら市, つくばみらい市, 美浦村, 阿見町, 河内町, 利根町
 県西地域: 古河市, 結城市, 下妻市, 常総市, 筑西市, 坂東市, 桜川市, 八千代町, 五霞町, 境町

2 県全体の動向

(1) 現状判断DI

景気の現状判断DIの推移



分野	調査年月	平成31年 3月	令和元年 6月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月
合計		47.1	43.8	46.1	41.9	20.6
家計動向関連		47.4	43.3	46.0	42.1	15.1
小売関連		44.3	41.5	44.3	36.5	20.5
飲食関連		47.8	44.8	40.9	39.3	16.7
サービス関連		50.0	44.7	49.0	47.3	9.0
住宅関連		46.9	40.6	43.8	46.9	25.0
企業動向関連		45.8	44.1	46.1	41.2	30.8
農林水産業		40.6	34.4	57.1	40.6	42.9
製造業		43.1	44.7	42.7	38.5	29.1
非製造業		50.7	45.6	48.6	45.0	30.9
雇用関連		50.0	46.7	46.9	42.7	20.8

景気の現状判断DIは、前回調査より21.3ポイント低下して20.6となり、横ばいを表す50を6期連続で下回りました。

家計動向関連DIは、前回調査より27.0ポイント低下し、19期連続で50を下回りました。

企業動向関連DIは、前回調査より10.4ポイント低下し、5期連続で50を下回りました。

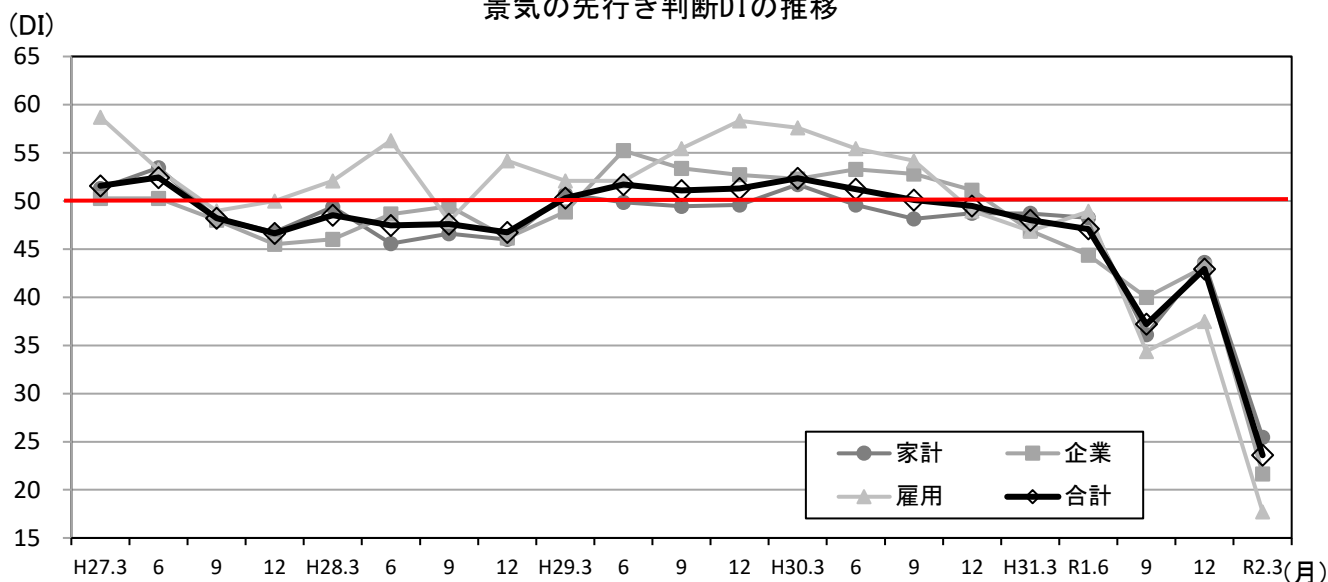
雇用関連DIは、前回調査より21.9ポイント低下し、4期連続で50を下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（県南：都市型ホテル）新型コロナウイルスでのキャンセルは非常に厳しい状況で、宿泊稼働率も低迷、レストランもガラガラでほとんど予約無し、宴会はキャンセルの電話のみの状況で、大きな損失となっている。
- ・（県西：タクシー運転手）会社員の人をお乗せすると、「契約が白紙になった。」とか「送別会が4件キャンセルだよ。どうしてくれるんだ。」「イベントが全て流れて、生活するのが苦しい。」などの話ばかりの状態。駅からの長距離の乗り越し客も減っている感じがする。
- ・（県北：製造業（食料品））全体的に売上げが下がっているのに加え、3月から新型コロナウイルスでの注文キャンセル（給食用・弁当業者・外食業者など）が数件出てきた。
- ・（鹿行：製造業（金属製品））新型コロナウイルスの影響で、大手企業の生産ラインが停止されている。さらに、海外向け商品に注文が入らず、ライン稼働は2分の1以下となった。
- ・（県央：公共職業安定所）令和2年1月現在の新規求人は対前年比で4か月連続でマイナス、有効求人倍率は対前年比で3か月連続でマイナスとなっている。新型コロナウイルスによる影響で、各種業界から雇用調整助成金の問い合わせが多数寄せられている。

(2) 先行き判断DI

景気の先行き判断DIの推移



分野	調査年月	平成31年 3月	令和元年 6月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月
合計		48.0	47.1	37.2	42.9	23.6
家計動向関連		48.7	48.3	36.1	43.6	25.4
小売関連		48.9	46.9	29.5	42.3	20.8
飲食関連		42.4	46.9	35.2	45.2	40.5
サービス関連		51.6	49.0	42.5	43.6	26.3
住宅関連		37.5	56.3	31.3	50.0	15.6
企業動向関連		46.9	44.4	40.0	43.1	21.7
農林水産業		53.1	50.0	46.4	37.5	35.7
製造業		44.7	43.1	38.0	42.7	20.9
非製造業		48.5	44.9	41.4	45.0	19.9
雇用関連		46.9	48.9	34.4	37.5	17.7

景気の先行き判断DIは、前回調査より19.3ポイント低下して23.6となり、横ばいを表す50を6期連続で下回りました。

家計動向関連DIは、前回調査より18.2ポイント低下し、8期連続で50を下回りました。

企業動向関連DIは、前回調査より21.4ポイント低下し、5期連続で50を下回りました。

雇用関連DIは、前回調査より19.8ポイント低下し、6期連続で50を下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（県北：ドライブイン）先行きが見えない。売上げがマイナスでも営業しているかぎり最低光熱費、人件費はかかるわけで、パートを休ませることを考える必要がある。早く終息してほしい。
- ・（県央：小売業）消費税増税後の消費マインド低迷の継続に加え、新型コロナウイルス感染拡大がまだ終息していない可能性があり、現状より悪化していると想定する。
- ・（鹿行：建設業）新型コロナウイルスの影響もあり、3か月先は良くなっていないと思う。全ての経済に影響しているのではないだろうか。
- ・（県西：製造業（電気機械器具））新型コロナウイルスの終息が今のところ全く見通しが立っていないため、更に悪くなっていると思う。
- ・（県南：求人広告）新型コロナウイルスの影響の長期化から、業績低迷、雇用への影響がでていることが予想される。

3 地域別の動向（※調査結果はP.1参照）

（1）県北地域

- ① **現状判断：** 景気の現状判断DIは20.6となりました。前回調査より24.9ポイント低下して、横ばいを表す50を6期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（旅行代理店）新型コロナウイルスの影響で、個人ツアー、団体貸切旅行ともキャンセルが相次いで出ている。
- ・（不動産業）集客活動の主となるイベントの中止により、受注・売上げに繋がる活動が減ってしまっている。

- ② **先行き判断：** 景気の先行き判断DIは23.7となりました。前回調査より23.2ポイント低下して、横ばいを表す50を5期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（商店街代表者）新型コロナウイルスの感染対策は進むだろうが、それでも感染者は増えると思う。飲食業や他のサービス業もダメージが大きく、体力の無いところから倒産などが増えて、あらゆる産業に波及していくと思う。
- ・（求人开拓員）求職者の数は変わらないが、企業からの求人は減っていくと感じている。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（タクシー運転手）飲食店の店主が悲鳴をあげているのをよく聞く。新型コロナウイルスの早期の終息、国による経済への措置を願うばかりである。このままでは、生活が立ち行かなくなる恐れがある。
- ・（製造業（化学工業））インバウンドは全く不調だが、レトルト食品やカップ麺等の需要は増えており、短期間の市場構造の変化を感じる。

（2）県央地域

- ① **現状判断：** 景気の現状判断DIは18.5となりました。前回調査より24.0ポイント低下して、横ばいを表す50を2期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（農産物直売所）新型コロナウイルスで、県外ナンバーは駐車場ではほとんど見かけない。水戸の観梅帰りの立ち寄りバスがない。買い出しに来る個人飲食店オーナーの買う量が少ない。
- ・（製造業（食料品））新型コロナウイルスの影響で、3月から学校給食はゼロ。外食は自粛休業や発注減少がある。

- ② **先行き判断：** 景気の先行き判断DIは24.6となりました。前回調査より17.9ポイント低下して、横ばいを表す50を4期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（製造業（金属製品））急激に見積もりが減ってきた。足元の仕事量も徐々に減ってきているため、仕事の取り合いや価格の下落が見られるようになってきた。先行きが不安である。
- ・（求人开拓員）新型コロナウイルスへの対策に時間を要し、その間、現在は顕在化していない経済活動への影響が具体化し、さらなる景気の悪化を招く。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（タクシー会社）水戸駅の利用客が極端に減少していることが見てとれる。
- ・（建設業）とにかく新型コロナウイルスで、問屋、メーカーの動きがとれない。中国で部品を作っているメーカーからは、納入未定、受注中止の連絡が毎日入ってきている様子。

(3) 鹿行地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは22.4となりました。前回調査より20.3ポイント低下して、横ばいを表す50を7期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・(衣料品販売店) 昨年の消費税増税から売上げは落ち込み、暖冬で単価の取れる重衣料が売れない。さらに今回の新型コロナウイルス騒動。プラス要因がひとつもないのが現状である。
- ・(学校就業関係者) 学生が今後の就職活動で内定をもらっても会社に就職できるのか不安を感じている。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは20.2となりました。前回調査より22.9ポイント低下して、横ばいを表す50を6期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・(スーパー) 新型コロナウイルスが終息する見込みがない。また、競合店(ドラッグストア)の出店攻勢が見られる。
- ・(製造業(化学工業)) 新型コロナウイルスの影響が今後出てくると思われる。外出や外食を控える人が多くなると消費が落ち込むことになるので、景気はやや悪くなると思う。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・(和食レストラン) 昼間の来客数は大きな変動はないものの、夜は明らかに来客数が激減しており、当社に限らず、近隣飲食店の駐車場もガラガラである。夕食は自宅で食べる傾向にあると思われる。
- ・(人材派遣業) 例年であれば、年度初めの4月に合わせて派遣依頼が増える傾向にあるが、現状は極めて少ない。

(4) 県南地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは20.9となりました。前回調査より19.8ポイント低下して、横ばいを表す50を4期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・(タクシー運転手) 新型コロナウイルスの関係で、一時的かもしれないが乗車回数が減少している。また、長距離利用が減っている。夜間の人通りが少ない。
- ・(建設業) 例年に比べ、見積依頼件数が少なすぎて、今後の受注が難しいと思われる。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは23.2となりました。前回調査より16.2ポイント低下して、横ばいを表す50を3期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・(小売業(生花店)) 新型コロナウイルスの影響が大きく影響するものとみており、生活必需品以外の消費冷え込みが懸念される。高齢者の外出回数を減らすとの会話もあることから、ついで買いや衝動買いが減るものと考えられる。
- ・(人材派遣業) 中国への輸出、輸入や生産減少の影響で大きく悪化すると予想する。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・(ゴルフ場) 新型コロナウイルスが発生する前までは、好調な予約であったが、政府対策が発表されてから激減している。全体的に沈んだ空気感がある。
- ・(製造業(家具・装備品)) 私共の商店街は、レストランのオーナーが夜に他店へアルバイトに行っているという状態である。今年は暗い一年になりそうだ。

(5) 県西地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは20.6となりました。前回調査より17.3ポイント低下して、横ばいを表す50を24期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・(スーパー) 新型コロナウイルスの影響もあるが、品薄や中止、延期等が見られる。客に余裕がない様子で、消費も鈍っているように感じている。
- ・(学校就業関係者) 求人数は昨年度より減少したが、就職内定率は良いと思われる。しかし、求人における中小企業の給与水準は上昇しておらず、生活が良くなっている感覚はない。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは26.3となりました。前回調査より16.4ポイント低下して、横ばいを表す50を5期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・(サービス業(コンサルタント業)) 新型コロナウイルスが続くようであればその影響は多大で、相当悪化すると思う。いつ終息するかがポイントだと思う。
- ・(求人広告) 顧客から、来期の業績は確実に悪くなるとの理由で今期の内に掲載料の支払いをしたいとの依頼も増えている。顧客の今後の景気に対する警戒が強くなっている。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・(コンビニエンスストア) 単価の安いタバコ(葉巻類含む)の販売が増加しており、小売店での買い物がシビアになってきているのではないと思う。
- ・(製造業(窯業・土石製品)) 梱包資材業者からの話で、例年になく段ボール等の梱包資材の動きが良くないとの話があった。

4 多く寄せられたキーワード

以下では、ウォッチャーから寄せられた回答の中で多く見られたキーワードや、前回から増加したキーワード等を含むコメントを掲載しています。

- ・「新型コロナウイルス」に関するコメント 451件(県北:89, 県央:97, 鹿行:91, 県南:90, 県西:84)

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・(製造業(窯業・土石製品)) 新型コロナウイルスの影響で、中国からの入荷が遅れている。春節の休暇に続いての入荷遅れなので打撃を受けている。
- ・(公共職業安定所) 新型コロナウイルスが終息傾向となるまで、売上げ減少やイベント等の中止、休業などの状況は続くと思われる。

- ・「キャンセル」に関するコメント 48件(県北:8, 県央:11, 鹿行:11, 県南:10, 県西:8)

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・(旅行会社) 新型コロナウイルスの影響でバスが全てキャンセルになり、スクールバスも休みである。
- ・(海鮮料理店) 当店はこの時期、観光バスの予約が入り収入が良くなることがあるが、2月~4月の予約が全てキャンセルとなり、今後の営業はとて考えられない。早く新型コロナウイルスが終息しなければ、当店だけの問題ではない。

- ・「外出自粛」に関するコメント 43件(県北:6, 県央:9, 鹿行:9, 県南:10, 県西:9)

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・(タクシー会社) 既存客から、新型コロナウイルス等の影響で外出を避けているとの話があり、家族・友人同士では出来るだけ外出を避けて自宅待機を優先している。
- ・(金融業) 新型コロナウイルス感染拡大の影響がいつまで続くか分からない状況で、特に消費を牽引していた高齢者が外出を自粛しており、今後更に悪くなるものと思慮される。